

5/28 明るくなり始めた午前4時半に、立川の自宅を出発して、宍戸OMと待ち合わせの苅場坂峠（かばさかとうげ）に向かいました。

途中コンビニで食料を仕入れ、青梅市に入った頃に50.240でJF1ZFCをコールするが応答なし、岩倉温泉を通過して飯能市に入り飯能大河原工業団地のロケの良い所から再度コールすると、青梅街道の東村山付近を走行中のJF1ZFC/Mと繋がりました。

こちらが先行しているので、国道299の正丸トンネル手前から苅場坂峠を目指す予定を、吾野から顔振峠経由で向かう事にしました。

顔振峠から宍戸OMをコールすると59で入感して既に岩倉温泉を通過して飯能に向かっていた、続いて青梅からJA1VWB局からコールがあり59++で入感してきました。

更に福島西白河郡のJA1RIZ/7局からの59でコールがあり、240移動各局が活動している様子が伝わってきました。

6時頃に苅場坂峠に到着して、一休みしていると、バイクのギヤを故障して、携帯も繋がらず困っている元HAMから声を掛けられました。

色々場所を変えて、トライしてみましたが、結局携帯電話は繋がらず、JA1VWB経由の携帯電話で、バイクの彼の自宅と連絡を取る事が出来ました。

そんなボランティア活動をしていたので、30分位遅れて埼玉県民の駐車場に到着しました。

山頂の丸山までは、15分～20分位で登れますが、今回は、無線機、安定化電源アンテナ2セット、ポール2セット、発電機、食料など、荷物が多く到着は8時近くになりました、早速アンテナを設営して受信を始めると移動各局がFB入感してきました。

特に長野木曾郡のJR2CTR/0や福島西白河郡のJA1RIZ/7は遠方なのに強力に入感して来ました。

予備用に用意してきた、HB9CVを設営すると、ショートバーを車に忘れた事が発覚しました、仕方なく実験中は、HB9CVを使用出来ませんでした。

（写真のHB9CVは実験終了後に、車まで取に行ってから設営したものです）

8時40分から各局の準備状況を確認すると、事前エントリーの7ポイントと当日参加の2ポイントと合わせて9ポイントの確認が出来ました。

しかし、Eスポの影響ですこし離れた局のカブリが少しありましたが、何とか出来る状況だったので240で実験を開始する事にしました。

残念ながら、福島耶麻郡猪苗代町のJJ1SXA/7はJA1RIZ/7のQSPでなんとかコントロール出来ました。

JJ1SXA/7はJA1RIZ/7と交信している時はRS31位で信号は確認

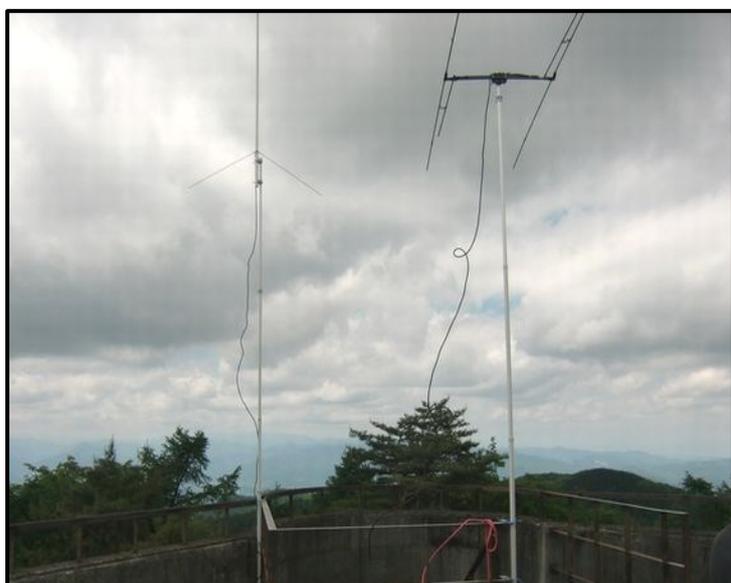
できますが、こちら向けの送信では、Q S Bの谷間に入り信号は確認出来ませんでした。

また、岐阜高山市のJ A 9 E B S / 2、京都府のJ A 9 J E E / 3はJ R 2 C T R / 0のQ S Pで確認を取る事が出来ました。

J A 9 E B S / 2とJ R 2 C T R / 0と交信している時は、やはりR S 3 1位で確認できましたが、やはりQ S Bの谷間になると信号はノイズとカブリで埋もれてしまいました。

全局残念ながら、コントロールする事は出来ませんでした。R I Z局、C T R局のご協力により無事に伝搬実験を終了する事が出来ました。この場を借りて感謝申し上げます。

丸山展望台に設置したA N T



丸山展望台に設置したR I G



終わり